

夏まつり in とやの

趣 旨 子どもたちに昔の遊びを楽しんでもらうと共に、大人スタッフとの世代間交流を体験してもらおう。

実施主体 鳥屋野地区公民館

参加対象 子ども 80人

参加者数 子ども(幼児から小学校5年生)68人, 保護者30人

回 数 1回 **日 数** 1日 **時 間** 2時間

場 所 鳥屋野地区公民館 4階 ホール

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	7月30日 午前10時～正午	世代間交流	昔遊びの指導者
1	内 容 ・ 方 法	<ul style="list-style-type: none">・ 昔遊びを9種目用意し、そのうちの4種目だけはチャレンジ1回だけとするためにチケットを用意した。・ それぞれの種目に担当スタッフを配置し、種目によっては景品も容易した(参加費100円)	

成 果

- ・ 今年で3回目となるが、事前に7回もスタッフで打ち合わせ会議を行い十分に検討した結果、「親子ともに楽しめる内容で素晴らしい」とか「子どもたちが目を輝かせて遊んでいる姿は見ていてとてもよかった」との感想をいただいた。
- ・ また、来年も是非やってほしいとの熱いエールをもらった。

課 題

- ・ ゲーム内容をより楽しいものとするための工夫が必要。
- ・ 毎回参加している人もいるが、初めての人からもっと参加してもらえるような募集方法を検討する必要がある。

問合せ先 新潟市鳥屋野地区公民館(担当:大塚文秋) TEL:025-285-2371

「お正月公民館まつり」

趣 旨 昔ながらのコマ回し・かるた・カルメ焼き・竹とんぼづくりなどを通して、地域の大人が地域の子ども達を育む機会を創出する。

実施主体 町公民館・町民会議・婦人団体連絡協議会（4団体）

参加対象 こども園・小中学生・保護者

参加者数 200名

回 数 1回（会議は4回） **日 数** 1日 **時 間** 5時間

場 所 聖籠町町民会館（全館）

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	平成19年1月14日	昔の遊びを通して、地域の大人が地域の子どもを育てる	わらべ会（昔遊び） 町婦人団体連絡協議会
1	内容・方法	参加者は子ども三百両・大人五百両を払い、通行手形を購入する。購入した通行手形を持って、6箇所の間所（創作体験・遊び体験場所）を廻る。間所を通過したら判子をもらい判子が3つ貯まると「富くじ箱」に投函できる。また、大かるた大会・コマ回し大会・はねつき大会などのイベントに参加し入賞すると、さらに「富くじ参加券」がもらえる。参加すればするほど富くじで当たる確立が高くなる。	

成 果 ・ このイベントは毎年実施している事業であるが、年々参加者が減少しており昨年度は100名募集のところ40名の参加であったため、メニューのマンネリ化解消・開催方法について下記のとおり工夫した。

【演 出】

- 職員が半月かけて昔の町並み（長屋6棟・鳥居・だんご木）を再現。
- 婦人団体連絡協議会のみなさん（30名）全員が着物を着て、お正月らしさを演出。

【メニュー】

- 例年のメニューに加え、カルメ焼き・古布で小物づくり・大かるた大会・駄菓子屋など、ボランティアスタッフの増員により参加メニューを増やした。
- 雑煮の仕込みにあたってはJA婦人部の協力により、従来より迅速に対応できた。

【参加者数】

- 一般参加が40名から160名に増え、参加者の満足度も明らかに増したことがうかがえた。

【総 評】

- 参加した子ども・保護者はもちろんのこと、ボランティアスタッフ（各種団体）も「子どもたちと一緒に遊べて楽しかった」「有意義なイベントになってよかった」と参加者すべてが充実感を得られた事業になった。得てして、公民館事業は事務局主導になりがちであるが、みんなで協力し、みんなで作りあげ、みんなで楽しめた事業になった。近年本町にはない事業であった。

課 題 ・ 単発で終わることなく、継続または別事業でも今回のスタッフを公民館活動に参加してもらえよう、繋がりを持ち続けることが課題となる。

余談：各団体には町民会議から謝礼として1万円ずつ支払いましたが、それを活用して慰労会を開催しました。言うまでも無くないへん盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができました。

問合せ先

聖籠町教育委員会 社会教育課（町民会館） 担当：佐藤伸一

TEL：0254-27-2121